

## 【審判方法について】

- 主審・副審・記録員・点示・線審・控え選手・ベンチスタッフはマスクを着用する。
- 主審・副審は、ホイッスルの上からマスクを着用する。(ホイッスルカバーの着用も可)
- 試合前と試合終了後に主審・副審・記録員は手指の消毒を行う。
- 使用する備品(フラッグ、モップ、電子ホイッスル等)は試合前と試合後消毒を行う。
- 使用する笛については、チーム内で共有しないこと。  
使用後はそのままの状態では放置せず水洗いまたは除菌シート等で洗浄・消毒を行い管理する事。また、電子ホイッスルの活用も可とする。
- プロトコルのコイントス参加者は、間隔をとり短時間で行う。  
その際、審判員は、選手・監督との握手は行わない。(選手同士も握手は行わない)
- 記録員は2名とし、間隔(イス一個分)を十分にとって着席し、試合中もその間隔を保つようにする。着席位置は主審から見て左側を記録員、右側を補助員とする。
- 監督・キャプテンは、記録用紙にサインをする際使用するボールペン(青色)は、自分で用意したものを使用する。(無い場合は、手袋の着用または消毒をする)
- 試合球は複数個用意し、こまめに交換しながら使用する。交換後のボールは、補助員によりタオル等で十分に乾拭きを行う。
- 試合開始前の挨拶は、主審、副審は通常どおり審判台側に整列する。  
選手は、エントリーされた全員がエンドラインに距離をとって整列し、主審の吹笛後一礼する。  
その際、選手同士の握手は行わない。その後、スターティングメンバーはコートに残り、控えの選手はベンチに戻る。副審と記録員によるサーブ順の確認後試合開始となる。
- 試合中、ベンチには監督、コーチ、マネージャーおよび控えの選手が着席する事ができる。  
また、ベンチの椅子は一席間隔分空けるか、前後に設置するなど人との間隔が保てるように設置する。控えの選手は試合中ベンチに着席するか、ウォームアップエリア内に待機する。  
いずれもベンチおよびウォームアップエリア内ではマスクを着用する。  
また、ウォームアップエリア内では密にならないよう間隔を保ち、発声は控える事。
- ベンチスタッフは大声での発声は控えること。また、観客席からの大声での応援等も同様に控えること。
- テクニカルタイムアウト・タイムアウト・セット間においては、選手同士が密にならないよう間隔を空ける。ベンチスタッフが選手に話しかける場合は、1メートル程度間隔を空けるようにする。(テクニカルタイムアウト時の給水場所はエンドライン延長線上のベンチ前もしくは横で行う)
- 給水は、コート内にいる選手はもちろん控えの選手やラインジャッジ、点示の子供達も確実にを行うようにすること。
- 試合中、お互いの距離が接近するような円陣や手指が接触する行為(ハイタッチなど)は行わない。また、ネット付近で相手方コートに向かって大声での声出しは控えるようにする。
- 競技者交代時、コート内にいる選手は、入ってくる選手の周りに集まらない。
- 試合終了後の挨拶は、コート内の選手6名のみエンドラインに距離をとって整列し、主審の吹笛後、その場で一礼しベンチに戻る。その後速やかにベンチを空ける。